

事業所名	グループホーム こてまり
ユニット名	さくら

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念は地域密着型サービスを念頭において作成しており、その理念を事務所に掲示し、ホーム会議時等に確認し合い、全職員が実践に向けて努力しています。	ホームの理念は採用時の研修で徹底されており、さらにホームの随所に理念や方針が掲げられています。管理者や職員は常に理念を心に秘めながら、理念の実践に取り組んでいます。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	東原自治会に加入しており、回覧板を通して町内の行事（納涼祭、運動会、防災訓練）に参加させて頂いております。職員も地域の方が多数働いています。	地域の行事や催し物には積極的に参加しており、地域の人達との触れ合いや交流が盛んに行われています。日常においても、祭りや地域の防災訓練等でふれ合った人々がホームを訪れたり、散歩などで馴染みとなり、地域との交流を深めています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会の会議に出席できる時は出させて頂き、当ホームの概要を説明し気楽に立ち寄ってもらえるようにアピールしています。町内の行事でご入居者と仲良くなられた住人の方が遊びに来られています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1回のペースで2ホーム合同で順番に会場を提供し開催しております。各委員から要望や意見を頂くようにして、協議しながらホームの改善に生かしております。	会議には自治会の正副会長、行政の担当、地域包括、家族代表が常に出席しています。ホームの活動報告や災害対策、行事計画、家族代表との意見交換等が活発に行われていて、ホームの運営に反映しています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議以外にも、泉区認知症高齢者グループホーム連絡会の参加や、市町村主催の研修に参加しています。また生活保護担当の職員の方とも連携を密に取っております。	行政の福祉窓口とは運営推進会議等で定期的にホームに来たりして交流をしています。区内のグループホーム連絡会では研修会をとおして他のグループホームとの交流を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束予防マニュアルを各職員に回覧し、常に身体拘束をしないケアに取り組んでいます。開所してから、身体拘束はゼロです。</p>	<p>身体拘束については、管理者をはじめ全職員は法人の研修などで、内容や禁止の意義が十分に周知されています。入居者には細心の注意と見守りの徹底で、拘束のない安全な支援の実践に努めています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>会社全体の勉強会などで学ぶ機会を持ち、虐待防止についての勉強や意識づけを図っています。虐待防止マニュアルを各職員に回覧し、防止に努めています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>市町村職員と協議し、横浜市のサービスや、生活保護担当者とも連携し、各ご入居者のサービスに活用しています。市町村、グループホーム連絡会が開催する講習会、研修会に参加しています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の改定等の際はご本人、ご家族を含め改めて説明を行い、同意を得た上で署名、捺印を頂いております。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書にホーム苦情相談窓口と外部苦情申し立て機関の連絡先が記載されており、契約時に説明しています。家族会で個人個人にご要望やご意見等を聞く環境作りをしています。</p>	<p>苦情相談マニュアル・対応手順・苦情相談記録票・苦情改善案シートが策定され、苦情等を受けてから改善策の実施までのプロセスが明確に把握できます。家族が面会に来たときには、必ず「困ったことなどありますか」と声掛けをしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム会議で出た職員の意見や要望、課題等を管理者が集約し、毎月1回ある所長会議(幹部会議)で提議し、改善可能なところは、職員に反映させています。	月1回ユニット会議とこてまりホーム会議を開催し、職員からの意見を聞き、月1回の所長会議で議題に上げ、職員の冬休みの期間などが改定されています。職員の異動は、できるだけ避けるような体制作りを行っています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修や資格取得に向けた支援を行い、状況に応じ個々の生かせる労働内容づくりに勤めています。行事担当や掲示物などを順番に行っていただき責任感や充実感をもって取り組んでもらっています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年、1泊2日の管理者研修があり、6月には全ホーム対象の事例発表会を実施しております。また全職員対象の勉強会が毎月1回あり、知識やサービス向上に努めています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜高齢者グループホーム連絡会主催の交換研修に参加し、他事業所とユニット単位で3日間の交換研修を実施しています。泉区の連絡会でも交流を図っています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所する前の段階で、面接やホーム見学等も実施されており、要望や疑問点も相談できる体制がとれております。入所初期段階ではホームでの生活状況を職員間で申し送り、情報の共有を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所する以前の段階で、面接やホーム見学等も実施されており、要望や疑問点も相談できる体制がとれております。また入所初期段階ではご本人の生活の様子をこまめにお知らせするようにしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居1ヶ月間ぐらいは環境の変化で不安になることも多い為、全体を見ながら、ご本人の希望などが反映されるよう支援していきます。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お料理や家事仕事等を一緒に行うことにより、昔の思い出を話される方も多く、職員のほうで学ばせていただけるよう、心がけております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族と一緒に祭りや、行事に参加し楽しんで頂ける機会を設けています。御家族の意向を尊重し、散歩やめりはりのある生活を送っていただいております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間については、特に制限を設けておりません。電話も希望時にホームの電話からかけられるようになっております。身寄りがいない方についてはホーム職員が付き添うこともあります。	自治会長や自治会主催の防災訓練などで知り合いになった人などが訪問してきます。身寄りのない方については、本人の思い出の場所に職員が付き添い訪問することもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや散歩などをみんなで行うことにより、自然に会話ができるように支援しています。食事やおやつ時は職員も混ざり世間話をし、楽しく過ごせる環境作りに努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用(契約)の終了者は、開所後1名もいません。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時、アセスメントを立てる際、本人の悩みや思いを聴くようにして情報を得るようにしています。意思疎通が困難な場合は御家族と協議し、最善策をとっていきます。	1対1になった時には、本人と良く語り合い希望等を聞き、入居者連絡帳に記入しています。入居者の方々は、リビングにいるときが多く、入居者同士の会話を聞いたり、入居者と寄り添いながら何気ない会話の中から思いや意向を察しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の訪問調査や契約時にご本人やご家族から生活歴や趣味などの聞き取り調査を行っています。その情報を職員間で共有しケアに反映させています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人ファイルに記録されている内容に必ず目を通し、毎日午前と午後の申し送りですべて1人1人の最新の身体状態を職員間で把握するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	普段の会話やアセスメントを通して課題・問題点を見つけ職員間でカンファレンスを行い、作成しています。ご家族からも面会時等に要望を聞き反映させるようにしています。	基本的には3ヶ月に1度見直しをしています。介護計画作成の見直しにあたり、まず「どうなったか」の評価を記入します。入居者連絡帳や本人や家族から意向等を聞き、モニタリングシート、アセスメント票、介護支援計画書の順で作成します。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個別ファイルとは別に入居者連絡帳を作成し特記を随時記入し、経過を追い、情報を共有しています。ケアプランの見直しも各記録に基づいて行っております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご入居者の希望があれば、可能な限り、職員と一緒に外出し、散髪や、服屋に買い物に出掛けられるよう支援を行っております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会に加入しており、お祭りや、防災訓練などの年間行事に職員と一緒に参加しております。また今年の8月には「腹話術」、10月には「ちびっ子落語」とボランティアの方が来所されました。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科と精神科の協力医療機関があり、ご本人やご家族の希望を聞き、主治医を決めてもらっています。また、病状の変化により、主治医の変更や適切な医療が受けられる体制がとられております。	かかりつけ医は、本人や家族の意向を尊重しています。特に希望のない場合には、入居者の状況に応じて内科または精神科の医師を紹介しています。月2回かかりつけ医が往診を行い、入居者の健康管理にあたっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>アイビー訪問看護ステーションとの契約に基づき、日々の健康管理や相談、アドバイスが受けられます。また24時間連絡体制を取っていますので急変時等にも指導が受けられます。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院医療機関の先生と話をする機会を作り、御家族の意向も踏まえ、ホーム内での生活が可能な段階で退院できるよう医療機関、御家族とも協議して決めていきます。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合には、御家族、主治医、訪問看護師、施設管理者で今後の医療方針について協議し、ご本人、御家族の希望を尊重し、週末期に向けた医療の選択を行っています。</p>	<p>ターミナルケアの対応体制は整っています。看取りの経験があり、看取りを考える段階になった場合には本人・家族の希望を尊重し、希望があれば看取りに関する指針と同意書について医師から説明しています。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>会社全体の勉強会や研修を通して「緊急時対応マニュアル」を作成し、いつでも職員が見れるよう事務所においてあります。泉区主催の救命救急講習や防災訓練に参加しています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎年、2月頃に町内の防災訓練に職員とご入居者数名で参加しております。また年2回ホームでの防災訓練(初期消火、避難訓練、防災設備の取り扱い)を行いご入居者も参加していただいております。</p>	<p>緊急時非常災害時対応マニュアルが整備され、緊急時連絡系統を掲示しています。運営推進会議で自治会から災害時には自治会館の提供の申し出を受けています。緊急持出し用バッグを玄関横に置き、非常食などが持ち出せるようになっています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入職時のオリエンテーションで、プライバシーの確保や個人情報の取り扱い、守秘義務については説明しております。また日々の業務の中では各フロアの責任者が、指導、管理にあたっています。	「個人情報保護方針について」を掲示し、入職時には、オリエンテーションにおいて「個人情報秘密保持について」研修しています。昨年10月に行われた「個人情報について」の法人内での研修に9名参加しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	1日の生活の中では特に制限を設けず、ご入居者の意思を尊重し生活して頂いております。家事全般が好きな方もおり、そのような方に関しては職員と一緒に行ってもらっています		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や裁縫等、ご本人の希望にそって、活動していただいております。個人個人の能力やペースにあわせ見守りや一部介助など行っております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お手持ちの洋服を自らが選択し、着用しています。近所の理髪店に定期的に行かれる方もいらっしゃいます。また外出が困難な方には、訪問理容を利用しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食ではないですが、ご入居者の食べたいもの等を聞いてリクエストに答えています。家事好きなご入居者には職員と一緒にお饅頭作りや、野菜の皮むきなどを行っております。	事業所の畑で採れた季節の野菜が食事を楽しくしています。時には、入居者の意見を聞いて献立を立てています。食事の野菜の皮むきなどの準備や後片付け、皿洗い、お皿拭きなどの当番を決めて手伝っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取量を毎日チェック表に記録して、体調管理に努めています。また週1回、体重測定を実施し、変動が激しい場合は、主治医に報告しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後に行っております。また自立で行われる方に関しても、奥歯や、磨ききれしていない箇所に関しては職員のほうで介助を行っています。入れ歯を使用されている方はポリドントを使用しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>時系列の排泄チェック表に記入し時間による排泄パターンを把握するようにしています。それによりトイレに誘導する時間帯も決めております。</p>	<p>排泄チェック表を作成し24時間記録しています。その記録を参考に排泄パターンを予測しトイレに誘導し、入居者本人が自分でトイレに行く習慣づけをしています。失敗してもさり気なく、職員が対応しています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>旬の野菜を多く取り入れており、今の時期はサツマイモなども多く摂取しています。朝食はパンが多く、牛乳を提供しています。便秘の方には主治医に経過を報告し、改善に努めています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ご本人の希望も含め、基本的には1日おきの入浴に取り組んでおります。足浴等も取り入れております。毎朝、血圧、体温チェックを行っており、体調などにも配慮しています。</p>	<p>入浴確認表を作成しています。午前・午後好きな時間に毎日入浴できるような体制作りをしています。季節を感じるように菖蒲湯、ゆず湯やみかんの皮をいれるなど楽しんで入浴できる工夫をしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	カーテンを閉める週間をつけ安眠できるように、エアコンも活用しています。日中アクティビティやレクリエーション、散歩など活動的に生活し、めりはりのある生活を行い、安眠につなげています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルの3枚目に処方せんがファイリングしてありいつでも確認できます。処方せんが変更になった場合でも症状の変化などを観察し、次回訪問診療時に主治医に報告しております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者の個々にあった楽しみ方、裁縫や塗り絵、編み物などを行っています。カラオケで声を出し気分転換して皆様と楽しく過ごして頂いています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援が可能な日は、スーパーや衣料品店、散髪等に職員と一緒にいっています。また月に3回はレストラン「風の音」に外出と音楽療法に出掛けています。本部からの送迎支援もあります。	散歩については、天候がゆるす限りは日課として外出しています。月3回、法人が運営しているレストランに外出と音楽療法に行っています。個別の外出支援については、駅前の衣料品店などに職員と一緒に行き買い物をしています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には本社でお金の管理をしています。購入希望がある場合はホームで一時立替払いをし、月々のサービス利用料と共に請求しています。(証明として領収書を添付いたします)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のかけたい時にいつでも電話を利用できるようにしております。手紙も切手やハガキ等は希望があれば購入支援を行っております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしています	リビングとキッチンが一体となっている為、TVの音や料理の音などが聞こえ、会話も自然に行え、生活観のあるリビングになっていると思います。	季節ごとにもみじやどんぐりなどを飾ったり、季節を題材にした塗り絵を飾ったりしています。「10時・3時は換気をしましょう」と掲示があり、換気や室温に気を配っています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼リビングではTVを観たりご入居者同士お話をされています。また居室で本や新聞を読まれて、過ごされている方もいます。夫婦の方も入所されており、家庭的な雰囲気の中、生活されています		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた布団や枕、タンスなど使い慣れたものを使用しています。写真や飾り物等も室内に置かれています。	入居前に使用していた机、タンス、イス、布団、テレビなどを持ち込み、写真や置物などを飾り、入居者の個性を活かした居室作りがされています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、廊下、浴室には手すりがあり、浴槽内も滑り止めマットを使用しています。トイレのドアには分かりやすくトイレの絵を張っております。		

事業所名	グループホーム こてまり
ユニット名	すずらん

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>ホームの理念は地域密着型サービスを念頭において作成しており、その理念を事務所に掲示し、ホーム会議時等に確認し合い、全職員が実践に向けて努力しています。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>東原自治会に加入しており、回覧板を通して町内の行事（納涼祭、運動会、防災訓練）に参加させて頂いております。職員も地域の方が多数働いています。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>自治会の会議に出席できる時は出させて頂き、当ホームの概要を説明し気楽に立ち寄ってもらえるようにアピールしています。町内の行事でご入居者と仲良くなられた住人の方が遊びに来られています。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3ヶ月に1回のペースで2ホーム合同で順番に会場を提供し開催しております。各委員から要望や意見を頂くようにして、協議しながらホームの改善に生かしております。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも、泉区認知症高齢者グループホーム連絡会の参加や、市町村主催の研修に参加しています。また生活保護担当の職員の方とも連携を密に取っております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束予防マニュアルを各職員に回覧し、常に身体拘束をしないケアに取り組んでいます。開所してから、身体拘束はゼロです。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社全体の勉強会などで学ぶ機会を持ち、虐待防止についての勉強や意識づけを図っています。虐待防止マニュアルを各職員に回覧し、防止に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市町村職員と協議し、横浜市のサービスや、生活保護担当者とも連携し、各ご入居者のサービスに活用しています。市町村、グループホーム連絡会が開催する講習会、研修会に参加しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の改定等の際はご本人、ご家族を含め改めて説明を行い、同意を得た上で署名、捺印を頂いております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にホーム苦情相談窓口と外部苦情申し立て機関の連絡先が記載されており、契約時に説明しています。家族会で個人個人にご要望やご意見等を聞く環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム会議で出た職員の意見や要望、課題等を管理者が集約し、毎月1回ある所長会議（幹部会議）で提議し、改善可能なところは、職員に反映させています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修や資格取得に向けた支援を行い、状況に応じ個々の生かせる労働内容づくりに勤めています。行事担当や掲示物などを順番に行っていただき責任感や充実感をもって取り組んでもらっています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年、1泊2日の管理者研修があり、6月には全ホーム対象の事例発表会を実施しております。また全職員対象の勉強会が毎月1回あり、知識やサービス向上に努めています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜高齢者グループホーム連絡会主催の交換研修に参加し、他事業所とユニット単位で3日間の交換研修を実施しています。泉区の連絡会でも交流を図っています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所する前の段階で、面接やホーム見学等も実施されており、要望や疑問点も相談できる体制がとれております。入所初期段階ではホームでの生活状況を職員間で申し送り、情報の共有を図っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所する以前の段階で、面接やホーム見学等も実施されており、要望や疑問点も相談できる体制がとれております。また入所初期段階ではご本人の生活の様子をこまめにお知らせするようにしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居1ヶ月間ぐらいは環境の変化で不安になることも多い為、全体を見ながら、ご本人の希望などが反映されるよう支援していきます。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お料理や家事仕事等を一緒に行うことにより、昔の思い出を話される方も多く、職員のほうで学ばせていただけるよう、心がけております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族と一緒に祭りや、行事に参加し楽しんで頂ける機会を設けています。御家族の意向を尊重し、散歩やめりはりのある生活を送っていただいております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間については、特に制限を設けておりません。電話も希望時にホームの電話からかけられるようになっています。身寄りがいない方についてはホーム職員が付き添うこともあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや散歩などをみんなで行うことにより、自然に会話が出るように支援しています。食事やおやつ時は職員も混ざり世間話をし、楽しく過ごせる環境作りに努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用（契約）の終了者は、開所後1名もいません。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時、アセスメントを立てる際、本人の悩みや思いを聴くようにして情報を得るようにしています。意思疎通が困難な場合は御家族と協議し、最善策をとっていきます。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の訪問調査や契約時にご本人やご家族から生活歴や趣味などの聞き取り調査を行っています。その情報を職員間で共有しケアに反映させています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人ファイルに記録されている内容に必ず目を通し、毎日午前と午後の申し送りですべて1人1人の最新の身体状態を職員間で把握するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	普段の会話やアセスメントを通して課題・問題点を見つけ職員間でカンファレンスを行い、作成しています。ご家族からも面会時等に要望を聞き反映させるようにしています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活状態を個人記録に記入し、職員間で申し送りを行っています。業務日誌や個別ファイルとは別に入居者連絡帳を作成し特記を随時記入し、経過を追い、情報を共有しています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご入居者の希望があれば、可能な限り、職員と一緒に外出し、散髪や、服屋に買い物に出掛けられるよう支援を行っております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会に加入しており、お祭りや、防災訓練などの年間行事に職員と一緒に参加しております。また今年の8月には「腹話術」、10月には「ちびっ子落語」とボランティアの方が来所されました。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科と精神科の協力医療機関があり、ご本人やご家族の希望を聞き、主治医を決めてもらっています。また、病状の変化により、主治医の変更や適切な医療を受けられる体制がとられています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	アイビー訪問看護ステーションとの契約に基づき、日々の健康管理や相談、アドバイスが受けられます。また24時間連絡体制を取っていますので急変時等にも指導が受けられます。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院医療機関の先生と話す機会を作り、御家族の意向も踏まえ、ホーム内での生活が可能な段階で退院できるよう医療機関、御家族とも協議して決めていきます。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合には、御家族、主治医、訪問看護師、施設管理者で今後の医療方針について協議し、ご本人、御家族の希望を尊重し、週末期に向けた医療の選択を行っています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会社全体の勉強会や研修を通して「緊急時対応マニュアル」を作成し、いつでも職員が見れるよう事務所においております。泉区主催の救命救急講習や防災訓練に参加しています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎年、2月頃に町内の防災訓練に職員とご入居者数名で参加しております。また年2回ホームでの防災訓練（初期消火、避難訓練、防災設備の取り扱い）を行いご入居者も参加していただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入職時のオリエンテーションで、プライバシーの確保や個人情報の取り扱い、守秘義務については説明しております。また日々の業務の中では各フロアの責任者が、指導、管理にあたっています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	1日の流れの中で、ご自分で起床の時間や就寝時間を決めたり家事の手伝いや入浴の決定等を本人の希望通り行えるように支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や裁縫等、ご本人の希望にそって、活動していただいております。個人個人の能力やペースにあわせ見守りや一部介助など行っております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お手持ちの洋服を自らが選択し、着用しています。近所の理髪店に定期的に行かれる方もいらっしゃいます。また外出が困難な方には、訪問理容を利用しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食ではないですが、ご入居者の食べたいもの等を聞いてリクエストに答えています。旬の食材も利用し、散歩でふきのとうを採取した時は、料理して食べています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取量を毎日チェック表に記録して、体調管理に努めています。また週1回、体重測定を実施し、変動が激しい場合は、主治医に報告しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後に行っております。また自立で行われる方に関しても、奥歯や、磨ききれない箇所に関しては職員のほうで介助を行っております。入れ歯を使用されている方はポリドントを使用しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>時系列の排泄チェック表に記入し時間による排泄パターンを把握するようにしています。それによりトイレに誘導する時間帯も決めております。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>旬の野菜を多く取り入れており、今の時期はサツマイモなども多く摂取しています。朝食はパンが多く、牛乳を提供しています。便秘の方には主治医に経過を報告し、改善に努めています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>午前、午後と利用者様の希望にそって入浴していただき個々に応じたケアを行っております。基本的に毎日の入浴を心がけております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	カーテンを閉める週間をつけ安眠できるように、エアコンも活用しています。日中アクティビティやレクリエーション、散歩など活動的に生活し、メリハリのある生活を行い、安眠につなげています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルの3枚目に処方せんがファイリングしてありいつでも確認できます。処方せんが変更になった場合でも症状の変化などを観察し、次回訪問診療時に主治医に報告しております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者の個々にあった楽しみ方、裁縫や塗り絵、編み物などを行っています。カラオケで声を出し気分転換して皆様と楽しく過ごして頂いています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご入居者の希望により近くのストアに行き、買い物をされ外出支援をしています。散歩も雨が降らない限りは、毎日の日課となっております。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には本社でお金の管理をしています。購入希望がある場合はホームで一時立替払いをし、月々のサービス利用料と共に請求しています。(証明として領収書を添付いたします)		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のかけたい時にいつでも電話を利用できるようにしております。手紙も切手やハガキ等は希望があれば購入支援を行っております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングとキッチンが一体となっている為、TVの音や料理の音などが聞こえ、会話も自然に行え、生活観のあるリビングになっていると思います。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼リビングではTVを観たりご入居者同士お話をされています。また居室で本や新聞を読まれて、過ごされている方もいます。夫婦の方も入所されており、家庭的な雰囲気の中、生活されています		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた布団や枕、タンスなど使い慣れたものを使用しています。写真や飾り物等も室内に置かれています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、廊下、浴室には手すりがあり、浴槽内も滑り止めマットを使用しています。トイレのドアには分かりやすくトイレの絵を張っております。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	開所後、数回自治会の回覧板を通して、介護教室や見学会で地域住民の方が訪問してくださいました。自治会の年間行事(催し物等)には積極的に、職員、ご入居者で参加させていただいておりますが、当ホームに地域住民の方をお招きする機会がほとんどありません。	今後は当ホームに地域住民の方を呼んで四季折々の催し物を行っていききたいです。	運営推進会議で地域代表として参加いただいている、東原自治会会長、副会長にこの件を説明し、回覧板を通して案内を出し、ホームの催し物などを行っていききたいことを説明し、実行していききたいです。	6ヶ月
2	4	現状では年4回の開催数です。3ヶ月に1回のペースで開催しています。踊場地域包括エリアのホームで2ホーム合同で開催しています	今後については、横浜市でも提示しているおむね2ヶ月に1回のペースでの開催や年6回開催をクリアしていききたいです。	各ホームの委員の方や地域代表、行政職員、地域包括職員と協議しながら、決めて行きたいと思えます。次回開催が6/10(木)の為、そこで相談していききたいと思えます。	12ヶ月
3	35	年2回は、防災訓練(避難訓練、初期消火、消防用設備機器の取り扱いなど)を職員とご入居者で行っておりますが、当ホームに消防署員や、地域住民の方が参加したことはありません。	消防訓練、防災訓練の強化	東原自治会の防災訓練には毎年、職員、ご入居者10名前後で参加しています。今後は当ホームでも年に1回は、地域住民の方が参加して行っていききたいです。次回の運営推進会議でこの件を相談して、決めていききたいと思えます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。